

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価		
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	継続することにより受講した高校生が増え、起業に対する意識付けが広まっていくために必要性は高い。 将来性の高い高校生を対象にキャリア教育を通じて、起業の意識付けをすることは有効です。 起業家精神の導入として妥当性があります。 自ら起業した人を講師として依頼しており、学校ごとに柔軟な講演が可能であるため効率性が高い。
今後に向けた課題の分析 受講した高校生の中で、将来起業した人の割合をどのように捉えてゆくのかを学校とともに研究します。						

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会等の開催支援	産業情報の提供、講演会等の開催支援	産業情報の提供、講演会等の開催支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	30	45	30	30	30	30
事業費 (A)		0	30	45	30	30	30	30
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	1,343	1,343	1,337	1,337	1,337	1,337
フルコスト (A+B)		0	1,373	1,388	1,367	1,367	1,367	1,367

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 高校生を対象とした起業家創出講演会については、高校の指導方針に沿った柔軟な対応を行い、また、創業塾については、企業家の創出支援を行います。	
平成22年度取組方針	
融資を含めた産業情報の提供や、研修会などの開催を支援します。	
課長コメント	高校生を対象に次世代の産業の担い手としての起業家の創出と就職支援を行う事業ですが、起業や新産業の創出は簡単にはできるものではありません。講演会への参加者はほぼ目標に達しているため事業継続しますが、事業の方向性は検討の余地があると考えています。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		295人の高校生が講演会を受講し、起業家精神の導入としての効果があった。また、創業塾（定員40人）では、ほぼ定数に近い参加者があった。	市内2校の高校で講演会を開催するとともに、夏休みを利用したインターシップ参加生徒を対象に、創業意識の事後講座を開催し、起業家精神の導入としての効果がありました。また、創業塾（定員40人）では、9割近くの参加者がありました。
検証結果	—	A：成果があがった	B：おおむね成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		受講した高校生の中で、将来起業した人の割合をどのように捉えてゆくのかを研究する。	受講した高校生の中で、将来起業した人の割合をどのように捉えてゆくのかを学校とともに研究します。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		産業情報の提供や研修会などの開催を支援する。	融資を含めた産業情報の提供や、研修会などの開催を支援します。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。